

「100年先を見据えた森林づくり」に関するアンケート調査結果

林政課

1 目的

森林づくりには50～100年以上にわたる長い年月と労力が必要です。県では平成27年10月に開催した第39回全国育樹祭を通じて、100年先を見据えた森林づくりについて考え、その重要性について全国に発信してきました。

こうした中で、県内の森林について、長期的な視野のもと地域ごとに目標を定め、それぞれの目標に即した森林づくりを支援していきたいと考えています。

平成29年度から各地域において具体的な計画の策定を進めるにあたり、県民の皆さんの意識等を把握し、県としての考え方の基礎資料とするため、ご意見を伺いました。

2 調査対象等

調査対象：県政モニター679名（うちインターネットモニター386名）

調査方法：郵送及びインターネット

調査期間：平成28年9月2日から9月28日

回収結果：581名（回収率85.6%）

その他：調査結果の構成比率はパーセントで表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。そのため、合計が100.0%にならない場合があります。

3 結果概要

・森林に対するニーズについて

重要だと考える森林の役割について、「土砂災害の防止」（84.5%）、「地球温暖化の防止」（80.7%）、「洪水の防止」（73.3%）と、森林のもつ公益的機能に関するものが上位3を占めている。昨年も同内容のアンケートを実施したが、「住宅などに使用する木材の生産」と「安らぎやうるおいを与えてくれる場」の順位が逆になった以外は昨年実施したアンケートと同様の順位であった。

・今後取り組むべき森林づくりについて

100年先を見据えたなかで今後どのような森林づくりに力を入れるべきかとの問いについて、「適切な伐採などを行い、気象災害や野生動物の被害から身近な生活を守る森林づくり」が59.9%と最も高く、次いで「奥山などは必要最小限の整備の後できるだけ自然の力を利用して広葉樹を導入する森林づくり」（58.5%）、「土砂災害を防ぐための治山工事などとその周辺の森林を一体的に整備する森林づくり」（49.9%）の順となっている。

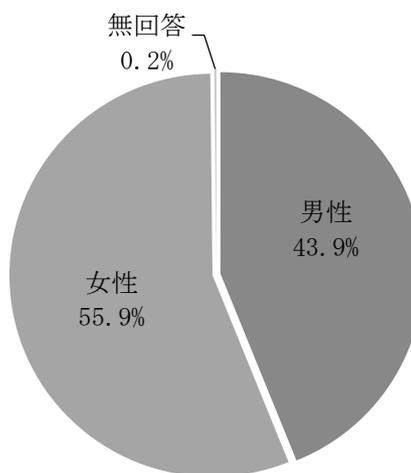
・その他、森林づくりに関する意見

全体で131件の意見等があり、うち46件（35.1%）が「100年先を見据えた今後の森林づくり」に関するものであった。

4 回答者の属性

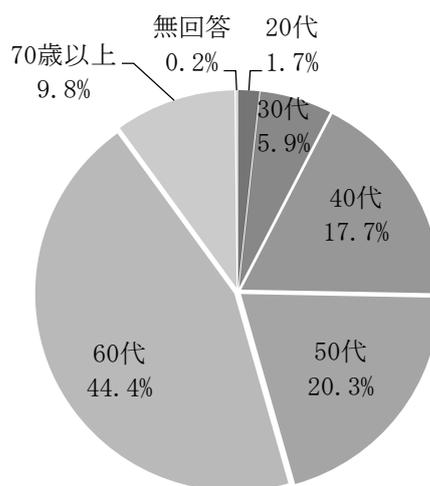
(1) 性別

	人数	割合
男性	255	43.9%
女性	325	55.9%
無回答	1	0.2%
合計	581	100.0%



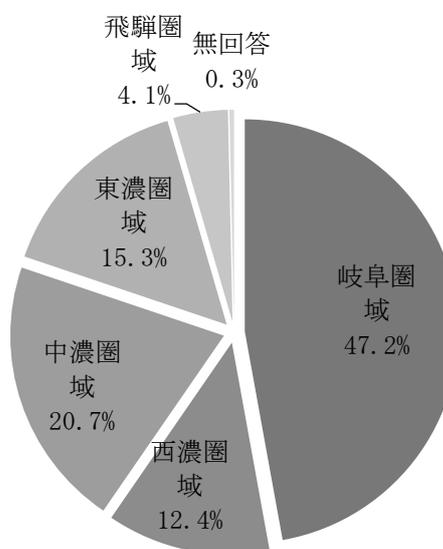
(2) 年齢

	人数	割合
20代	10	1.7%
30代	34	5.9%
40代	103	17.7%
50代	118	20.3%
60代	258	44.4%
70歳以上	57	9.8%
無回答	1	0.2%
合計	581	100.0%



(3) 居住圏域

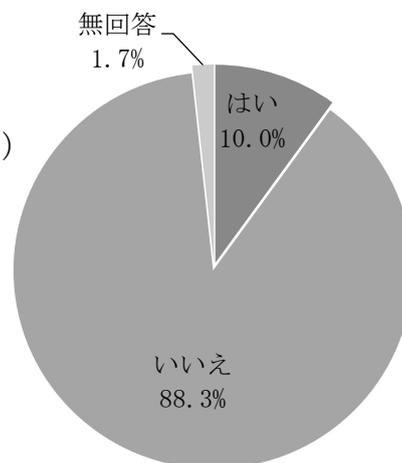
	人数	割合
岐阜圏域	274	47.2%
西濃圏域	72	12.4%
中濃圏域	120	20.7%
東濃圏域	89	15.3%
飛騨圏域	24	4.1%
無回答	2	0.3%
合計	581	100.0%



5 調査結果

問1 あなたは、森林を所有していますか。(回答数581人)

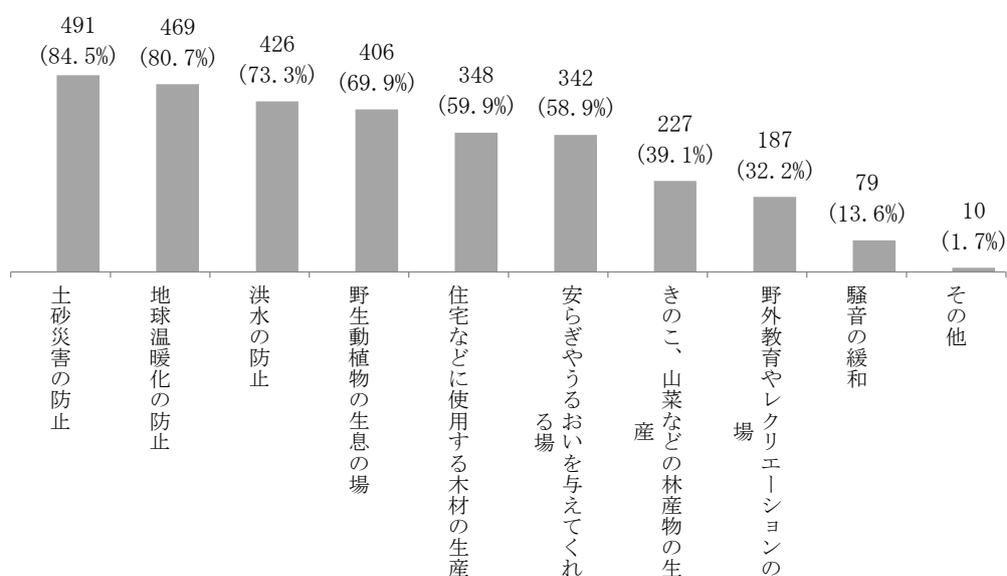
はい	58	10.0%
いいえ	513	88.3%
無回答	10	1.7%
合計	581	100.0%



問2 森林は私たちの暮らしにおいて大切な役割を担っています。あなたが重要だと思う森林の役割は何ですか。次の中からあてはまるものをすべてあげてください。

(回答数581人/2,985件)

	人数	割合
土砂災害の防止	491	84.5%
地球温暖化の防止	469	80.7%
洪水の防止	426	73.3%
野生動植物の生息の場	406	69.9%
住宅などに使用する木材の生産	348	59.9%
安らぎやうるおいを与えてくれる場	342	58.9%
きのこ、山菜などの林産物の生産	227	39.1%
野外教育やレクリエーションの場	187	32.2%
騒音の緩和	79	13.6%
その他	10	1.7%
合計	2,985	



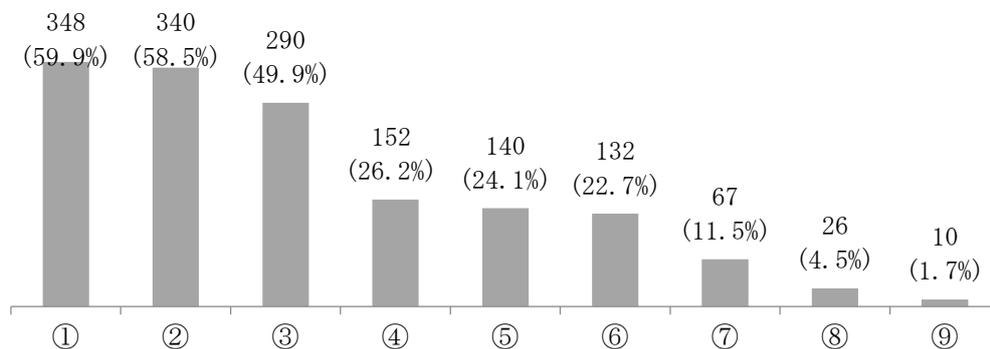
【その他】 景観、きれいな水の維持、防火帯、健康づくり 他

問3 戦後、本来であれば木材の生産に適さないような山奥などにも針葉樹(スギやヒノキなど)が多く植林された結果、手入れを放棄された人工林が目立つようになりました。これらの人工林は、手入れされた森林と比べて水を蓄える力が弱いこと、台風などにより倒木の被害を受けやすいことなどの問題点があります。

こうした現状をふまえ、岐阜県の森林について、100年先を見据えたなかで、今後どのような森林づくりに力を入れるべきだとお考えですか。次の中からあてはまるものを3つまであげてください。

(回答数581人／1,505件)

	人数	割合
① 適切な伐採などを行い、気象災害や野生動物の被害から身近な生活を守る森林づくり	348	59.9%
② 本来、木材の生産に適さないような奥山などで、手入れを放棄されている人工林の間伐を必要最小限行った後、できるだけ自然の力を利用して広葉樹を導入する森林づくり	340	58.5%
③ 土砂災害を防ぐための治山工事などとその周辺の森林を一体的に整備する森林づくり	290	49.9%
④ 県産の家具などの材料になるケヤキやブナなど広葉樹の木材を生産するための森林づくり	152	26.2%
⑤ 住宅建築の材料となるスギやヒノキなど針葉樹の木材を生産するための森林づくり	140	24.1%
⑥ 落葉広葉樹などを植えて四季の変化を楽しむ、観光資源となるような森林づくり	132	22.7%
⑦ 住民がレクリエーション活動などの場として親しめる森林づくり	67	11.5%
⑧ わからない	26	4.5%
⑨ その他	10	1.7%
合計	1,505	



【その他】

- ・もともとその地域で自然に育っていた樹木を植える
- ・花粉が飛ばない木の植林
- ・山奥の手入れをして野生動物の住みよい環境づくり
- ・林業従事者の雇用内容改善、後継者確保 他

問6 その他、森林づくりに関するご意見がありましたら、お聞かせください。(131件)

【主な意見】

(100年先を見据えた森林づくりについて)

- ・ やはり森といえばケヤキやブナなど広葉樹林を思い浮かべるので、豊かな森の恵みとなる、しかも、しっかり根をはる樹木を選んで植林してほしい。
- ・ 維持管理の永続的な支援ができないのなら、動物のえさになる実がなる広葉樹を少しずつでも植林してもらえるように支援していったらいいと思います。
- ・ スギ、ヒノキは花粉症の原因になるので、花粉が少ない品種改良を行なって植林してほしい。
- ・ 人口も減っていくのだし、住宅や家具など、物を作る材料としてはこれ以上増やさなくていいと思う。
- ・ なるべく人工的でなく、自然を生かした森林づくりのほうがよいのではないかと思う。人間が手を加えることで利点があれば行う。自然の形に利点があれば行う。シンプルに行えばいいのではないか。
- ・ 「岐阜は木の国、山の国」と歌われることに自信・誇りがもてるよう、奥山の人工林を自然林に変えていくことに重きを置きながら、合わせて里山の整備もお願いしたいです。
- ・ 四季の感じられる森林が岐阜の一番の宝物になると考えます。
- ・ 町の中に住んでいることで、森林に対する意識は低い。散策や気分転換など気軽に森林浴などで利用できる森林が近くにあればうれしい。
- ・ 野生動物との共存ができるような環境作りを考えて行ってほしい。
- ・ 早々に取り組まないと、取り返しがつかない事態が起こる。100年後の事は誰も分からない。そんな事業をどうやって推進していくのか、まずは、それを納得させるだけのデータも必要。一番大切な事業が一番難しい事業だと思っています。でも、やって下さい。
- ・ 放置された森林は害となっている現状です。この線引きを確実に行ってほしいです。
- ・ 100年先を見据えた森林づくりの更なる広報活動に努めてほしい。

(制度、支援について)

- ・ 森林の保護対策が出来ていない。あまりにも多くに資金援助し過ぎ。間伐、除伐、枝打ちに限定すべきでしょう。資金支援の集中投資をしないことには森は守れない。
- ・ 境界の確定、間伐を含めた手入れの所有者への義務化又は代替として森林組合への委託の義務化若しくは所有権の放棄の促進、外国籍の法人、個人への売却への禁止、地下水汲み上げの制限。
- ・ 森林を代々所有しているが、手入れをする人がいなくて困っている。災害などの問題もあるので、行政で一体化して管理してほしい。
- ・ 森林・環境税をもっと有効に活用して、森林の保全を図って欲しい。

(教育、普及・啓発について)

- ・ 山も手入れされていなくて、個人だけでは限界があるなど実感しています。県民で森林づくりに取り組めたらいいですね。
- ・ 所有者、所有範囲が分からなくなっている人が増えている。山への無関心が山をだめにしている。
- ・ 森林が重要なことのアピール、マスメディアの活用。企業も未来に目を向けて積極的に取り組んでほしい。

(木材利用について)

- ・ 県産材の利用を促進するシステム開発をしてほしい。身近な素材を安く手軽に活用できる方法を考えてほしい。
- ・ 木のさらなる活用を推進し需要を増やすこと、即ち木の価値を高めることが森林づくりにつながると思います。「岐阜は木の国」などと謳っているが、公共施設にさえ積極的に木材を使用しているようには全く思えないのが残念。

(後継者の育成について)

- ・ 森林づくりに携わる方々は高齢化が進み、従事者が年々減少していると伺っています。100年先を見据えた森林づくりのためには何より人の育成、確保が重要であると考えます。
- ・ 難しい問題ではあるが、木材の価格を今より少し高くし、林業に携わっている会社や従業員の待遇改善を図る（新規参入を促す）。

(その他)

- ・ 最近、森林を伐採しソーラーを作る所がかなり見られるが森を減らしてソーラーはエコか？本末転倒な気がする。